

# パネル文学展のご案内

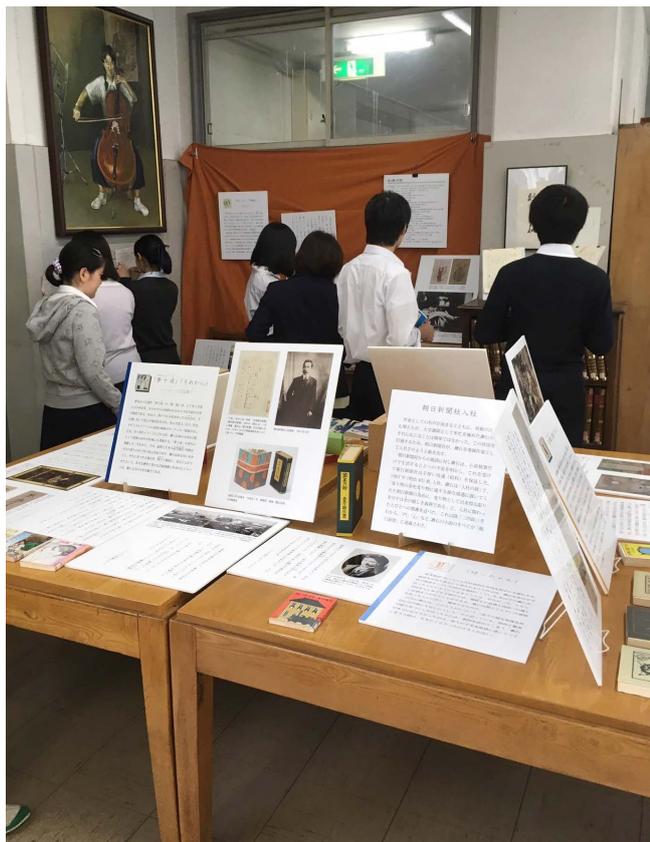
神奈川近代文学館では、学校図書館や文化祭での展示や授業のために、6種類のパネル文学展を用意しています。いずれも過去に当館で開催した展覧会を20～50点のパネル文学展に再構成したものです。2008年（平成20）に開始したパネル文学展の観覧者は累計339校、約28万人（2025.3現在）を数えています。貸し出しをご希望の方は、メールフォームまたはFAXでお申し込み下さい。（詳細は本案内2ページ目の【申込方法】をご覧ください。）

図書室や文化祭で  
文学展を開いてみませんか？  
データ版はパワーポイントや  
オンライン授業にも！  
公共図書館等でもご利用ください。

〈パネル文学展メニュー〉

- ①夏目漱石展（データ版あり）
- ②中島敦展（データ版あり）
- ③森鷗外展
- ④太宰治展
- ⑤与謝野晶子展
- ⑥佐藤さとる『コロボックル物語』展

## 展示風景 2018年パネル文学展「夏目漱石」を開催した横須賀高校の展示風景とアンケート



原稿の表現とかを直したあとが  
たくさんあって、こういうのは  
初めて見たけど、おもしろい  
と思った。－生徒

パネル展を観覧して、漱石の作  
品は漱石の人生の影響を大きく  
受けていたことが分かりまし  
た。－生徒

順番に観ていくと漱石のエピソ  
ードや作品のあらましが概ね理解  
できるようになっており、コンパ  
クトですが内容の濃いパネルであ  
ると思いました。人気のコミック  
の絵もあり、生徒たちの導入とし  
て良いですね。－教員

作品は読んだことがありまし  
たが、作者の性格や人生を知った  
上でもう一度読んでみたら、また  
違ったとらえ方ができそうです。  
こういった展示は大切だなと感じ  
ました。－保護者



## 【貸出について】

(貸出期間) 1か月を目途に、協議のうえ決定。

(貸出料) 無料。

(パネル点数) 約30～50点(展示スペース等に応じて展示点数を減らすこともできます。)

(運搬) 宅配便、公用車など展示パネルの運搬にかかる経費は利用者が負担。

宅配便の概算額＝往復約5,000円。

データ版(夏目漱石、中島敦のみ)はDVD-R(要返却)を送付します。

(報告) 返却時に、観覧者(利用者)数などの報告が必要です。会場スナップ写真や生徒さんの感想等もありましたら添えてください。

(その他)

\*展示会は開催者と県立神奈川近代文学館・公益財団法人神奈川文学振興会との共催とする。

\*関連図書などによる補足展示などアレンジ可。

\*文学館紹介パネル、ポスター等の掲示にご協力ください。

\*肖像、資料のパネル展示に必要な著作権者等の許諾手続きは文学館が処理済です。

\*数に限りがあるため、予定が決まりましたらお早めにお申込ください。

## 【申込方法】

下記内容をFAXでお送りいただくか、神奈川近代文学館ホームページ内「パネル文学展」に記載のメールフォーム(<https://kanabun-or.jp.prm-ssl.jp/paneruten.html>)からお申込下さい。

折り返し御連絡し、スケジュールなどについて打ち合わせを行います。



また、御不明の点は随時下記までお問い合わせ下さい。

県立神奈川近代文学館 担当:総務課・加藤

〒231-0862 横浜市中区山手町110 TEL 045-622-6666 / Fax045-623-4841 / event@kanabun.or.jp

---

## 神奈川近代文学館 パネル文学展利用希望 FAX 送信用紙

学校名など団体名:

御希望のパネル文学展名:

御希望の利用期間と運搬方法:

利用の目的(例・文化祭展示、高3国語科オンライン授業):

展示会場: ○をお付け下さい。

教室

図書館

常設の展示スペース

その他( )

御担当者のお名前・職名:

電話番号:

メールアドレス:

その他:御質問など

# パネル文学展 内容のご案内

## 1. 夏目漱石展 (データ版あり)

2016年春開催の特別展「100年目に会う 夏目漱石」のダイジェスト版。肖像写真、原稿、絵画のほか、漱石の遺族から寄贈いただいた東京・早稲田南町の〈漱石山房〉に残された遺品などによって漱石の全体像をわかりやすく紹介します。

### 漱石が描いた絵

漱石は、子どものころ、よく歳の中で絵を眺めていたそうです。イギリス留学から帰ると水彩画の習作に励み、明治末年ころからは、画家・津田青楓を師に、山水画や水墨画に取り組みました。漱石は精神的に不安定になると、絵を描いたといいます。書画に没頭する時間は、執筆で疲れた心を蘇生するひとときとして、漱石を支えていたと考えられます。



『深山神社図] 1913年(大正2)ころ  
文字組織

『春花園] 1913年春 早稲田南町の家の書斎を描いた作品。文字組織

### 漱石の書斎



漱石山房と呼ばれた書斎 1917年(大正6)撮影 毎週木曜日午後3時以降と定められた自由(実業)には小室信子をはじめ、寺田実、鈴木重雄、高田謙平、内田百閒、折川龍之介ら多くの若き門下生が集い、夜更まで漱石との談話に明け渡った。

漱石にとって書斎は、執筆のための特別な空間でした。万年筆や特製原稿用紙はもちろん、印鑑、文箱などの品々はいずれも、漱石が好んで選んだものばかりです。



印・木村芳樹作「夏目漱石」 漱石の手裏・うさぎにちなんだ印。文字組織

印・岡村梅村作「藤屋」 買物やのり巻で出る漱石の足音の音が、置かれた椅子が震るような音がしたと書かれ、面白がって彫られたという。文字組織

漱石特製原稿用紙の根本 漱石本の綴りを半割した両面紙・糊口製によるデザインで「漱石山房原稿用紙」と呼ばれていた。文字組織



「下宿」(永日小品)原稿 [大塚朝日新聞]「東京朝日新聞」1909年(明治42)1月に掲載 漱石は「朝日新聞」の文芸部に合わせ、19字×10行の原稿用紙をおつらえて使った。文字組織

朝日新聞社入社後 1907年5月



『清美人』(初版本) 1908年1月 春陽堂 装幀・樋口五郎  
文字組織寄託

### (夏目漱石展開催実績)

2008～2024年度：144校(旧版を含む、うちデータ版20校) / 2024年度開催：県立神奈川総合産業高等学校、県立大和西高等学校、県立金井高等学校、県立港北高等学校、玉川学園、横浜市立仲尾台中学校、東京都立桜修館中等教育学校、鎌倉市立手広中学校(開催順 以下同)

## 2. 中島敦展 (データ版あり)

2019年秋開催の特別展「中島敦展—魅せられた旅人の短い生涯」のダイジェスト版。教科書にも取り上げられ、今日も多くの人々を惹きつけている「山月記」をはじめとする作品のほか、作家としてデビューするまでの軌跡や教師としての素顔も紹介しています。希望校には、中島敦が横浜高等女学校教員時代に作成した国語の試験問題(コピー・配布可)も合わせて提供します。

### 中島 敦展

Exhibit of Atsushi Nakajima



目標をさす 1934年(昭和9) 横浜高等女学校で

中島敦(1909～1942)は、中学のころから作家になりたいという希望を持っていましたが、夢はなかなか叶いませんでした。1933年(昭和8)、大学を卒業した中島は、横浜高等女学校(現・横浜学園高等学校)の教員になります。8年勤務したのち、1941年、32歳のときに喘息の病後を患い、教師を務め日本の陥落下にあった南洋群島に「秀才」に扮して赴任。約6ヵ月滞在しました。翌年2月、横浜時代に集めた「山月記」(文学書)が雑誌「文学界」に掲載され、中島も知らぬうちに文壇デビューを果たします。3月に帰京し、中島は急逝の作家として活動しますが、同年12月、志が叶って死を遂げました。

中島が遺した著書は2冊、発表した作品も20数編ですが、いまも人々に愛され、読み継がれています。今回は中島の短くも超えて豊かな人生を原と捉えて紹介します。さらに、令和の現代における、作品の広がりにもスポットをあてます。

### 旅の終わり——トファ(眠れ!) ツシタラ

1942年(昭和17)3月、中島は(ラオ)から帰京します。2ヵ月後の「文学界」5月号に掲載された「究と夢と」の好評で、中島のもとには執筆依頼が相次ぎました。冬が近づいてくれば徐々に寒気が強くなりますが、中島は執筆を通じて広がる想像の世界で、数千年の時を超えた旅を続けます。病身をおして「わが西遊記」(著者「名人伝」李陵・司馬遷)などの執筆、推察を書き、急逝の作家として奇蹟のような8ヵ月を過ごしましたが、この年の12月4日、33年の短い生涯を閉じました。



横浜高等女学校のクラスまで 1942年7月26日 担任を務めたラオの教員たちと。生前最後に撮られた写真といわれる。



岡田潤一郎の追記 中島がラオに帰る途中、中島は横浜に住む中島の友人・田代三郎の長女・幸子と結婚し、中島も結婚生活を送った。まもなく中島は急逝し、幸子は1943年11月に中島が遺した手紙を基に、岡田潤一郎が、この手紙で感銘を受けた。神奈川女子文芸部編

### 5 生きていく中島敦——現代における読み方——

#### II 「文豪ストレイドッグス」

現代横浜を舞台に、文豪の名を借りたキャラクターたちが、それぞれの著書に因った賢能力で戦う漫画「文豪ストレイドッグス」(原作・朝霧カフカ、漫画・春河35)。作品の主人公は(中島敦)。敦は孤児院を飛び出して漫画に迷うが、読者出版社に所属する本郷亮太(中島敦)と出会い、見出されて、探偵の目となる。「文豪ストレイドッグス」をきっかけとして、中島敦の作品に親しみ新たな読者も生まれている。



「文豪ストレイドッグス」コミックス10巻の口絵イラスト。季節は中島敦。左から志保、安室透、国木景子、田中真一、江川乱歩、高木直也、与謝野晶子、菅原野矢。



『山月記』(新装版) 著者・山月記 - 新装版 著者の名作を「文豪ストレイドッグス」漫画キャラクターたちで彩るコラボカバー。

『文豪ストレイドッグス』(第3巻) 田中真一 著。イブニングサンデーを新装版に、図である「山月記」と共編する。編

© 朝霧カフカ・春河35 KABUKIMURA

### (中島敦展開催実績)

2008～2024年度：96校(旧版を含む、うちデータ版23校) / 2024年度開催：県立横須賀高等学校、東京純心女子高等学校、捜真女学校、玉川学園、県立川崎高等学校、県立神奈川総合産業高等学校、川崎市立幸高等学校、県立永谷高等学校、県立横須賀南高等学校

### 3. 森鷗外展

2009年（平成21）に開催した「森鷗外展—近代の扉をひらく」のダイジェスト版。鷗外の肖像写真をはじめ、「舞姫」原稿、ドイツ留学ゆかりの品、子どもたちの写真、遺言書、著書初版本などで近代文学の世界を拓いた鷗外の生涯と作品世界を紹介します。



#### (森鷗外展開催実績)

2009～2024年度：31校、2機関／2024年度開催：県立神奈川総合産業高等学校

### 4. 太宰治展

2014年（平成26）春に開催した「太宰治展—語りかける言葉—」のダイジェスト版。没後60年以上の歳月を経てなお、多くの人々を惹きつける作品世界と、名作を生み出した苦闘の生涯を、肖像写真や原稿を通して紹介します。

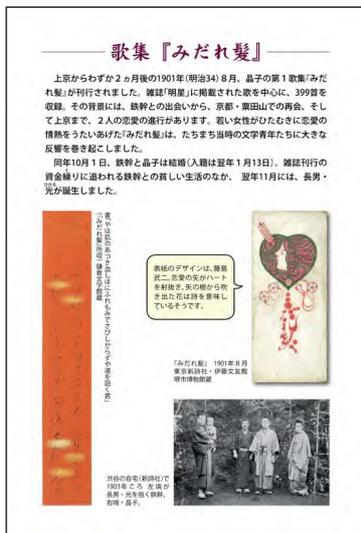
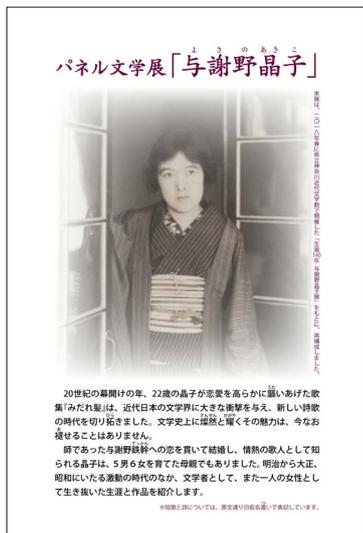


#### (太宰治展開催実績)

2014～2024年度：51校、1機関／2024年度開催：横浜市立岡津中学校、県立永谷高等学校、県立横浜水取沢高等学校、二宮町立二宮中学校、横浜市立新羽中学校、県立横浜修悠館高等学校、県立神奈川総合産業高等学校、県立愛川高等学校、横浜女学院中学校高等学校、横浜雙葉中学高等学校

## 5. 与謝野晶子展

2018年春、生誕140年を記念して開催した「与謝野晶子展ーこよひ逢ふ人みなうつくしき」のダイジェスト版。第一歌集『みだれ髪』で新しい詩歌の時代を築き上げ、幅広いジャンルで活躍した情熱的な生涯を、草稿、書簡、短冊、遺品、著書初版本などで紹介します。

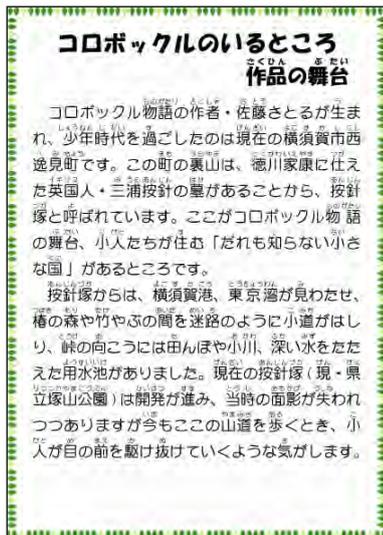


### (与謝野晶子展開催実績)

2018～2024年度：15校／2024年度開催：県立川崎高等学校、県立西湘高等学校、東京純心女子高等学校、フェリス女学院高等学校

## 6. 佐藤さとる「コロボックル物語」展

2007年夏開催の「佐藤さとる『コロボックル物語』展」をもとに製作。日本を代表する児童文学作家・佐藤さとるの生涯と「コロボックル物語」誕生の背景を、肖像写真や原稿などの資料で親しみやすく紹介しています。全体の内容についてはお問合せください。



### (佐藤さとる展開催実績)

2013～2024年度：23校、3機関／2021～2024年度開催：横浜富士見丘学園、横浜中央図書館、横浜女学院中学校高等学校

※パネル展1～5については、ご希望があれば「文豪ストレイドッグス」パネルも合わせて提供、ワークシートもあります。また、神奈川近代文学館ホームページ内「パネル文学展」で全体の内容をご覧いただけます。